1. プロフェッショナリズム

薬学部 カリキュラム マップ　(R6-7年度入学)

【ディプロマポリシー】

・薬剤師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。
・医療を実践するための法律やルールを遵守し、医療安全に配慮する。

【カリキュラムポリシー】

薬剤師としての責務を認識し、倫理観を醸成するための授業科目（医療現場での体験実習を含む）を１年次から各学年で開講する。特に法規・規範を理解するための授業科目は２年次から開講する。授業で培った責務と倫理観をもって人間性豊かな医療を安全に実践する態度を身につけるため、４年次後期から附属病院および薬局において参加・実践型の臨床実習を行う。

資質・能力の到達レベル	レベル4 (卒業時) 医療現場において、もてる知識を統合し、学生薬剤師として相応しい責任感と倫理観をもって患者や医療関係者と接し、患者や地域住民に医療を提供できる。	レベル3 (４年終了時) 模擬的な医療環境において、医療のプロフェッショナルを目指す学生としての責任感と倫理観を持ち、薬剤師としての責務を認識して医療の提供をシミュレートできる。	レベル2 医療のプロフェッショナルを目指す学生として薬剤師の責務を認識し、責任感と倫理観を持って行動できる。	レベル1 (基礎的) 医療のプロフェッショナルを目指す学生としての責任感と倫理観を知り、医療系学生として相応しい行動ができる。
第1学年				チーム医療の基盤 地域医療入門 （在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅰ） アカデミックスキルズ 医療を支える臨床薬剤師 初年次臨床体験実習 人の行動と心理 ヒューマニティ 健康と運動の科学 基礎コミュニケーション 健康とスポーツの科学
第2学年			プロフェッショナリズムⅠ 人体の成り立ちと機能実習 臨床から学ぶ① 臨床から学ぶ② 健康の維持増進をはかる公衆衛生 薬剤師の社会的使命と法的責任	キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント 在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅱ
第3学年		学部連携チーム医療 PBLⅡ・在宅ケア情報と科学技術を活かす臨床薬剤師 調剤患者対応入門 薬と疾病４（精神・神経/POS/神経PBL） 薬と疾病５(循環器/循環器PBL)	キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント プロフェッショナリズムⅡ 処方箋に基づく調剤の基本Ⅰ 処方箋に基づく調剤の基本Ⅱ 医薬品等の開発と法規制	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 精神医療実習 薬局実習	学部連携チーム医療PBLⅢ 在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ 薬学研究入門 キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント 臨床実習事前学修 地域医療とプライマリーケア 社会保障制度と医療経済 ファーマシューティカルケアプログラム 症候と疾患推測 臨床心理学の活用 医薬品の副作用・有害事象 症例研究入門 臨床研究入門 臨床手技		
第5学年	キャリアデザイン 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース 基盤研究実践コース ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習２ 精神医療実習 薬局実習	学修技法とスチューデントデベロプメント ファーマシューティカルケアプログラム 臨床心理学の活用 医薬品の副作用・有害事象 症例研究入門 臨床研究入門		
第6学年	学部連携地域医療実習 学修技法とスチューデントデベロプメント 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース 基盤研究実践コース 薬剤師の臨床判断			

2. コミュニケーション能力

【ディプロマポリシー】
・多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築くことができる。
・患者や地域住民、医療関係者などとの間で、必要な情報の収集・提供を適切に行うことができる。

【カリキュラムポリシー】
１年次は寮生活、初年次臨床体験実習（福祉施設訪問等を含む）、学部連携科目、教養科目、薬学専門科目などを通して多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を構築する。２年次からは、医療人として患者・家族、医療スタッフなどと適切に対応し、医療を実践するために必要な情報収集・提供能力を修得するために、コミュニケーション演習、PBL チュートリアルなどの授業科目において参加型学修（模擬患者を対象としたロールプレイ実習を含む）を行う。４年次後期からは、附属病院や薬局・在宅で患者や家族との面談・指導および他学部学生、多職種との連携を実践する多様な臨床実習を行う。

	レベル4 (卒業時)	レベル3 (４年終了時)	レベル2	レベル1 (基礎的)
資質・能力の到達レベル	医療現場や社会において、患者・家族や地域住民、医療関係者など多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築き、相手の話を傾聴し共感的理解を示しながら(ナラティブ)、必要な情報の収集・共有・提供を適切に行うことができる。	模擬的な医療環境において、患者・家族や地域住民、医療関係者など多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築き、相手の話を傾聴し共感的理解を示しながら(ナラティブ)、必要な情報の収集・共有・提供を行うことができる。	模擬的な医療環境において、患者・家族や地域住民、医療関係者など多様な背景を持つ人々との良好な人間関係の構築を目指し、相手の話を傾聴しながら、必要な情報の収集・提供を行うことができる。	学生生活・カリキュラムにおいて多様な背景を持つ人々との良好な人間関係の構築を目指し、相手の話を傾聴し、わかりやすく情報を伝えることができる。
第1学年				地域医療入門 （在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅰ） チーム医療の基盤 アカデミックスキルズ 初年次臨床体験実習 医療を支える臨床薬剤師 English for Healthcare Communication Paragraph Writing Essential English for Academic Literacy 人の行動と心理 ヒューマニティ 基礎コミュニケーション 健康と運動の科学 健康とスポーツの科学
第2学年			プロフェッショナリズムⅠ 在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅱ 臨床から学ぶ① 臨床から学ぶ②	キャリアデザイン 薬学英語の基礎
第3学年		学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	キャリアデザイン 調剤患者対応入門 薬と疾病４（精神・神経/POS/神経PBL） 薬と疾病５(循環器/循環器PBL) 薬学英語	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 精神医療実習 薬局実習	学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ キャリアデザイン 臨床実習事前学修 薬と疾病７(ＥＢＭ・個別化医療) 薬と疾病９(先端がん治療・感染症 PBL) ファーマシューティカルケアプログラム 臨床心理学の活用 症候と疾患推測 臨床手技 臨床研究入門	薬学研究入門	
第5学年	学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 病院実習２ 精神医療実習 薬局実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 基盤研究実践コース 海外における薬剤師の役割を知る	キャリアデザイン ファーマシューティカルケアプログラム 臨床心理学の活用 臨床研究入門 アドバンスト薬学英語 アドバンスト薬学英会話		
第6学年	学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 基盤研究実践コース 海外における薬剤師の役割を知る	薬剤師の臨床判断 アドバンスト薬学英語 アドバンスト薬学英会話		

3. 患者中心のチーム医療

【ディプロマポリシー】

・ 医療を共に担う多職種の職能を相互に理解・尊重し、患者に関わる情報を共有できる。
・ 多職種と連携・協力しながら薬剤師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践する。

【カリキュラムポリシー】

体系的・段階的な学部連携カリキュラムを全学年で実施する。１年次はチーム医療の基本を理解し、学生間の連携・協力の基盤を身に付けるために、寮生活のもと、多様な学部連携科目を開講する。２年次から４年次は、多職種間の相互理解と連携・協力をもとに、チーム医療を実施するシミュレーションとして、累進的に構成された学部連携PBL チュートリアルを各学年で開講する。４年次末から６年次には、患者中心のチーム医療を、医療現場で実践する能力を身に付けるため、附属病院・地域での臨床実習・学部連携実習を行う。

	レベル4 (卒業時)	レベル3 (４年終了時)	レベル2	レベル1 (基礎的)
資質・能力の到達レベル	医療現場において、多職種と連携・協力しながら患者に関わる情報を共有し、薬剤師の専門性を発揮して、患者中心のチーム医療を実践できる。	模擬的な医療環境において、他学部の学生と連携・協力しながら患者に関わる情報を共有し、薬剤師の専門性を発揮して、患者中心のチーム医療をシミュレートできる。	学生生活・カリキュラムにおいて、他学部の学生と連携・協力した上で、医療を共に担う多職種の職能を理解し、グループワークにおいては患者に関わる情報を共有し、薬剤師の専門性を意識しながらチーム医療をシミュレートできる。	学生生活・カリキュラムにおいて、医療を共に担う多職種の職能を知り、他学部の学生と連携・協力できる。
第1学年				地域医療入門 （在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅰ） チーム医療の基盤 アカデミックスキルズ 初年次臨床体験実習 医療を支える臨床薬剤師 ヒューマニティ 基礎コミュニケーション
第2学年			プロフェッショナリズムⅠ 在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅱ 臨床から学ぶ① 臨床から学ぶ② 薬剤師の社会的使命と法的責任	
第3学年		学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	プロフェッショナリズム② 調剤患者対応入門 薬と疾病４（精神・神経/POS/神経PBL） 薬と疾病５(循環器/循環器PBL) 医薬品などの開発と法規制	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 精神医療実習 薬局実習	学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ 臨床実習事前学修 薬と疾病７(ＥＢＭ・個別化医療) 薬と疾病９(先端がん治療・感染症PBL) 社会保障制度と医療経済 ファーマシューティカルケアプログラム 症候と疾患推測 臨床心理学の活用 医薬品の副作用・有害事象 臨床手技	地域医療とプライマリーケア 放射性医薬品の管理と利用	
第5学年	学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習２ 精神医療実習 薬局実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース	ファーマシューティカルケアプログラム 医薬品の副作用・有害事象 臨床心理学の活用		
第6学年	学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース	薬剤師の臨床判断		

4-1. 専門的実践能力　医薬品の調製、管理、供給

【ディプロマポリシー】
医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医薬品の調製、管理、供給を適切に実施できる。

【カリキュラムポリシー】
医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医療現場で医薬品の調製、管理、供給の実践に必要な知識、技能、態度を修得するために、１年次より薬学の基礎知識を学び、学年進行に応じて医療への応用が修得できるよう、体系的かつ段階的に講義・演習・実習を実施する。これらの授業科目で身につけた能力を薬学共用試験（CBT,OSCE）で評価したのち、４年次末から附属病院と薬局で臨床実習を行う。

資質・能力の到達レベル	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	医薬品の多様な特性と法的規制を理解したうえで、医療現場において医薬品の調製、管理、供給を適切に実施できる。	医薬品の多様な特性と法的規制を理解したうえで、模擬的な医療環境において医薬品の調製、管理、供給をシミュレートできる。	医薬品・化学物質の多様な特性と生体との相互作用を理解し、代表的な医薬品を法的規制のもとに適切に取り扱うことができる。	医薬品・化学物質の代表的な特性や生体に関する基本的事項を理解する。
第1学年				医療を支える臨床薬剤師 医療サイエンス（数理科学） 医療サイエンス（物理科学） 医療サイエンス（物質科学） 医療サイエンス（生命科学） 生命活動を担う分子Ⅰ 生命活動を担う分子Ⅱ 人体の成り立ちと機能Ⅰ 人体の成り立ちと機能Ⅱ 人体の成り立ちと機能Ⅲ 薬学物理の基礎 熱力学・化学平衡Ⅰ 薬学化学の基礎 有機化合物の構造と性質 漢方薬になる動植鉱物
第2学年			臨床から学ぶ① 臨床から学ぶ② 薬の効き方 薬の効き方①実習 生命活動を担う分子実習 生体防御を担う組織、細胞、分子 人体の成り立ちと機能実習 溶液の化学・放射線 分析実習 物理化学実習 有機化学実習 微生物学実習	生命活動を担う分子Ⅲ 生命活動を担う分子Ⅳ 有機化合物の性質と反応 熱力学Ⅱ・反応速度論 化学平衡Ⅱ・臨床分析 薬の作用と生体内運命 薬剤師の社会的使命と法的責任
第3学年		栄養と食品衛生 注射・輸液療法	薬物の体内動態 薬の効き方②実習 製剤の性質と設計 製剤化のサイエンス実習 薬物動態の解析（演習） 遺伝子とバイオ・細胞医薬品 生体分子と医薬品の化学 機器分析 医薬品等の開発と法規制	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 精神医療実習 薬局実習	臨床実習事前学修 学部連携PBLⅢ・在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ 基礎薬学演習 化学物質の毒性と中毒 社会保障制度と医療経済 ファーマシューティカルケアプログラム 症例演習と薬物療法の実践 医薬品の副作用・有害事象 臨床手技	薬物投与計画と薬物送達システム 放射性医薬品の管理と利用	
第5学年	学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習２ 精神医療実習 薬局実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 基盤研究実践コース	ファーマシューティカルケアプログラム 症例演習と薬物療法の実践 医薬品の副作用・有害事象 応用薬学演習		
第6学年	学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 基盤研究実践コース	応用薬学演習 アドバンスト薬学英語		

4-2. 専門的実践能力　薬物治療の計画・実践・評価

【ディプロマポリシー】

患者の病態とともに患者・家族の心理・社会的な背景を把握した上で、科学的な根拠と医薬品の特性に基づいて、個々に適した薬物治療を実践できる。

【カリキュラムポリシー】

患者の病態とともに患者・家族の心理・社会的な背景に関する情報を収集・把握した上で、科学的根拠と医薬品の特性に基づいて個々に適した薬物治療を計画・実践・評価する能力を修得するために、体系的・段階的なカリキュラムを全学年で実施する。１年次では臨床につながる薬学専門科目を配置し、２年次以降では、医薬品の特性と科学的根拠に基づいた薬物治療を実践する能力の基盤を涵養するために、疾患領域毎に基礎と臨床を統合した分野横断型の講義演習科目である「薬と疾病」をシリーズとして開講する。４年次末から６年次には、個々に適した薬物治療を実臨床で主体的に実践するため、附属病院・地域での臨床実習（最長12ヶ月）を行う。

資質・能力の到達レベル	レベル4 (卒業時)	レベル3 (４年終了時)	レベル2	レベル1 (基礎的)
	医療現場において、患者･家族の心理･社会的な背景に配慮しつつ、病態を把握したうえで、科学的な根拠をもった安心･安全な薬物治療を評価･計画･実践できる。	模擬的な医療環境において、患者･家族の心理･社会的な背景に配慮しつつ、病態を把握したうえで、科学的な根拠をもった安心･安全な薬物治療の評価および計画をシミュレートできる。	与えられた模擬の患者情報に基づいて、病態を把握し、科学的な根拠に基づいた適切な薬物治療の計画を立案できる。	代表的な疾患の病態を理解し、薬物治療を実施するための基本的事項を理解する。
第1学年				医療統計とデータサイエンス 医療を支える臨床薬剤師 医療サイエンス（数理科学） 医療サイエンス（物理科学） 医療サイエンス（物質科学） 医療サイエンス（生命科学） 生命活動を担う分子Ⅰ 生命活動を担う分子Ⅱ 人体の成り立ちと機能Ⅰ 人体の成り立ちと機能Ⅱ 人体の成り立ちと機能Ⅲ 有機化合物の構造と性質
第2学年			薬と疾病１(臨床所見と疾患推測) 薬と疾病２(悪性腫瘍・感染症) 薬の効き方 薬の効き方①実習	臨床から学ぶ① 臨床から学ぶ② 薬の作用と生体内運命 生命活動を担う分子Ⅲ 生命活動を担う分子Ⅳ 生体防御を担う組織、細胞、分子 微生物と感染症 微生物学実習 人体の成り立ちと機能実習 生命活動を担う分子実習 熱力学Ⅱ・反応速度論 化学平衡Ⅱ・臨床分析 健康の維持増進をはかる公衆衛生
第3学年		注射・輸液療法 学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	薬と疾病３(呼吸器・消化器) 薬と疾病４（精神・神経/POS/神経PBL） 薬と疾病５(循環器/循環器PBL) 薬と疾病６(代謝・内分泌・泌尿器・生殖器) 薬物の体内動態 薬の効き方②実習 製剤の性質と設計 薬物動態の解析（演習） 処方箋に基づく調剤の基本Ⅰ 処方箋に基づく調剤の基本Ⅱ 分子・細胞から生理病態へ 遺伝子とバイオ・細胞医薬品 生体分子と医薬品の化学 機器分析 栄養と食品衛生 医薬品等の開発と法規制 情報と科学技術を活かす臨床薬剤師	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 精神医療実習 薬局実習	薬学部連携PBLⅢ・在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ 臨床実習事前学修 基礎薬学演習 薬と疾病９(先端がん治療・感染症 PBL) ファーマシューティカルケアプログラム 症例演習と薬物療法の実践 症候と疾患推測 医薬品の副作用・有害事象 症例研究入門 臨床研究入門 臨床手技	薬と疾病７(ＥＢＭ・個別化医療) 薬と疾病８(感覚器・免疫・血液・小児) 薬物投与計画と薬物送達システム 放射性医薬品の管理と利用 化学物質の毒性と中毒 天然医薬・漢方薬	
第5学年	学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習２ 精神医療実習 薬局実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース	ファーマシューティカルケアプログラム 症例演習と薬物療法の実践 医薬品の副作用・有害事象 症例研究入門 臨床研究入門 応用薬学演習		
第6学年	学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース	薬剤師の臨床判断 応用薬学演習		

5.　社会的貢献

【ディプロマポリシー】
医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、社会や地域における人々の疾病予防、健康回復・維持・増進と公衆衛生の向上に貢献できる。

【カリキュラムポリシー】
医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、社会や地域における人々の疾病予防、健康回復・維持・増進と公衆衛生の向上に貢献するために、初年次より臨床体験実習（福祉施設訪問等を含む）や教養科目、学部連携科目、薬学専門科目を体系的・段階的に配置する。４年次末から６年次にかけての臨床実習において、地域での実践的学修を行う。

	レベル4 (卒業時)	レベル3 (４年終了時)	レベル2	レベル1 (基礎的)
資質・能力の到達レベル	地域の保健・医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、薬剤師の役割(プライマリケア、セルフメディケーション支援、在宅医療等)を実践して、地域住民の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上に貢献できる。	模擬的な環境において、地域の保健・医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、薬剤師の役割(プライマリケア、セルフメディケーション支援、在宅医療等)をシミュレートできる。	地域の保健、医療、福祉について、現状と課題を認識し、地域住民の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上における薬剤師の役割と意義を理解する。	地域の保健、医療、福祉について現状を理解し、薬剤師に求められる資質・能力を認識する。
第1学年				地域医療入門 （在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅰ） チーム医療の基盤 初年次臨床体験実習 医療を支える臨床薬剤師
第2学年			プロフェッショナリズムⅠ 臨床から学ぶ① 臨床から学ぶ② 健康の維持増進をはかる公衆衛生 環境衛生試験法	在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅱ 生態系と環境衛生 薬剤師の社会的使命と法的責任 キャリアデザイン 微生物と感染症
第3学年		注射・輸液療法	プロフェッショナリズムⅡ キャリアデザイン 学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア 製剤の性質と設計 栄養と食品衛生 食品衛生試験法 医薬品等の開発と法規制	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 精神医療実習 薬局実習	キャリアデザイン 学部連携PBLⅢ・在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ 薬と疾病７(EBM・個別化医療) 社会保障制度と医療経済 ファーマシューティカルケアプログラム 症例演習と薬物療法の実践 症候と疾患推測 医薬品の副作用・有害事象 症例研究入門 臨床研究入門 臨床手技	天然医薬・漢方薬 化学物質の毒性と中毒 地域医療とプライマリーケア	
第5学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習２ 精神医療実習 薬局実習 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース	ファーマシューティカルケアプログラム 症例演習と薬物療法の実践 医薬品の副作用・有害事象 症例研究入門 臨床研究入門 キャリアデザイン		
第6学年	学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース	薬剤師の臨床判		

6.　薬学研究と自己研鑽

【ディプロマポリシー】

- 医療・薬学に関わる研究課題に取り組む科学的探求心を有する。
- 論理的、批判的な視点から医療・薬学に関わる問題を発見し、解決するための方策を提示できる。
- 国際的視野を持って最新の知識や技能、必要な情報を生涯にわたって獲得する意欲と態度を有する。
- 医療における自らの行動を常に省察して、自己向上に努める。

【カリキュラムポリシー】

１年次から医療・薬学に関する研究課題に取り組む科学的探求心を養うために、薬学専門科目の講義・演習、実習を開講する。さらに高度な専門知識や研究手法、科学的根拠に基づいた問題発見・解決能力を修得するため、４年次から６年次には薬学研究および研究実践プログラムを配置する。また、研究論文発表会や学会等での発表を通じて、最新の知識や技能、必要な情報を生涯にわたって獲得する意欲と態度を涵養し、自己研鑽の土台を作る。

	レベル4 (卒業時)	レベル3 (４年終了時)	レベル2	レベル1 (基礎的)
資質・能力の到達レベル	・医療・薬学に関わる問題を自ら発見し、最新の知識や技能、必要な情報を活用して 論理的、批判的な視点から解決するための方策を習慣的に提示する。 ・医療現場において、薬剤師の責務を認識した上で自ら目標を定め、実施内容を省察し、次の行動目標へ反映することができる。	・最新の知識や技能、必要な情報を修得する技能を身につけ、与えられた課題における問題点に対して論理的、批判的な視点から解決するための方策を討議し、自らの考えとして文章にまとめることができる。 ・模擬的な医療環境において、薬剤師の責務を認識し、自ら目標を定めて実施内容を省察し、次の行動目標へ反映することができる。	・研究倫理と統計の知識を修得し、基本的な研究手法と理論を修得するとともに、提示された課題について討議・発表する。 ・薬剤師の責務を理解し、自ら医療のプロフェッショナルを目指す上での目標を考え、自己省察できる。	・基本的な研究手法と理論を理解し、提示された課題について調べる。 ・医療のプロフェッショナルを目指す学生として、目標を持って学生生活に取り組み、その行動を自己省察できる。
第1学年				医療統計とデータサイエンス 医療を支える臨床薬剤師 薬学化学の基礎 有機化学の構造と性質
第2学年			プロフェッショナリズムⅠ 健康の維持増進をはかる公衆衛生 環境衛生試験法	在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅱ キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント 生命活動を担う分子実習 人体の成り立ちと機能実習 微生物学実習 分析実習 物理化学実習 有機化学実習
第3学年		学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア 薬と疾病５(循環器/循環器PBL)	プロフェッショナリズムⅡ キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント 薬と疾病４（精神・神経/POS/神経PBL) 製剤化のサイエンス 食品衛生試験法 情報と科学技術を活かす臨床薬剤師	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習１ 精神医療実習 薬局実習	学部連携PBLⅢ・在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント 薬学研究入門 薬と疾病９(先端がん治療・感染症PBL) ファーマシューティカルケアプログラム 臨床心理学の活用 症例研究入門 臨床研究入門 臨床手技	薬と疾病７(ＥＢＭ・個別化医療)	
第5学年	学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 薬局実習 ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習２ 精神医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース 基盤研究実践コース	キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント ファーマシューティカルケアプログラム 症例研究入門 臨床研究入門 臨床心理学の活用 アドバンスト薬学英語 アドバンスト薬学英会話 海外における薬剤師の役割を知る		
第6学年	学修技法とスチューデントデベロプメント 学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース 臨床研究実践コース 基盤研究実践コース	薬剤師の臨床判断 アドバンスト薬学英語 アドバンスト薬学英会話 海外における薬剤師の役割を知る		

7. アイデンティティー

【ディプロマポリシー】
昭和医科大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。

【カリキュラムポリシー】
全学年にわたって実施する4学部連携教育やアイデンティティー教育により、本学の伝統や特長を認識し、昭和医科大学薬学部卒業生としてのプライドを持って医療に貢献する薬剤師を養成する。

資質・能力の到達レベル	レベル4 (卒業時)	レベル3 (4年終了時)	レベル2	レベル1 (基礎的)
	医療現場・社会とのかかわりにおいて、自己省察に基づいた目標を立て、倫理的に配慮した行動を常に自ら実践することで建学の精神(至誠一貫)を体現する。	模擬的な医療環境において、倫理的に配慮した行動をとり、建学の精神(至誠一貫)の観点から自己省察を繰り返し、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。	建学の精神(至誠一貫)に基づき、自己と他者の違いを理解し、他学部・他学年とのかかわり等における自己目標を立て、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。	建学の精神(至誠一貫)を理解し、友人との関わり等における自己目標を立て、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。
第1学年				地域医療入門 (在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅰ) チーム医療の基盤 アカデミックスキルズ 初年次臨床体験実習 医療を支える臨床薬剤師 基礎コミュニケーション ヒューマニティ
第2学年			プロフェッショナリズムⅠ 在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅱ	キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント
第3学年		プロフェッショナリズムⅡ 学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント 薬と疾病4(精神・神経/POS/神経PBL) 薬と疾病5(循環器/循環器PBL) 情報と科学技術を活かす臨床薬剤師	
第4学年	ファーマシューティカルケアプログラム 病院実習1 精神医療実習 薬局実習	学部連携PBLⅢ・在宅医療を支えるNBMと倫理Ⅲ キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント 臨床実習事前学修 薬と疾病9先端がん治療・感染症 ファーマシューティカルケアプログラム 臨床心理学の活用 臨床手技		
第5学年	学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 ファーマシューティカルケアプログラム 精神医療実習 薬局実習 病院実習2 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース	キャリアデザイン 学修技法とスチューデントデベロプメント ファーマシューティカルケアプログラム 臨床心理学の活用		
第6学年	学修技法とスチューデントデベロプメント 学部連携地域医療実習 薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース			